

[原著論文]

## テレビ電話による在宅患者の遠隔からの服薬支援

黒岩千恵美<sup>1)</sup>, 奥田忠弘<sup>2)</sup>, 山口典枝<sup>2)</sup>, 塚田昌代<sup>1)</sup>, 大熊哲汪<sup>1)</sup>

1) 株式会社メディカルアソシエイツ, 2) メディカルアイ株式会社

(2013年6月1日受理)

**【要旨】** 私たちは平成21年より経済産業省の地域見守り支援システム実証事業に参加し、地域医療インフラ構築プロジェクトを推進してきた。その中で3通りの映像通信装置を組み合わせたテレビ電話システム（ハイビジョンビデオ会議システム、ノートパソコンを使うシステム、iPadシステム）を使って、薬局と在宅患者宅を結び、このシステムが服薬支援に生かせるか否かにつき検討した。3種類のシステムはいずれも効果的に薬局と患者宅の間で通話でき、各種の錠剤の鑑別、残薬確認、血圧ノート等の確認、患者の表情からの健康状態の把握ができたことから、遠隔からの服薬指導に利用できると判断した。次にそのうちの1つであるiPadシステムを使い、模擬的に遠隔からの服薬指導を試みた。認知症治療薬と降圧剤等を併用している独居患者2名を対象に、機器操作が可能であるか、また服薬率が向上するか等につき検討した。患者はiPadのタッチパネルによる通信操作はキーボードを使う操作と比較して使い易いと評価し、試験期間内に自分で操作できるようになった。また服薬率も満足できるところまで向上した。更にテレビ電話による服薬支援は、薬剤師と患者が互いに顔を合わせて会話できるため、患者の満足度も高く、効果的な遠隔からの服薬支援になるものと考えられた。居宅療養管理指導業務等を効率よく行ううえで、ICTの活用は有用であることが示唆され、今後更に検討されることを期待する。

**【キーワード】** テレビ電話、iPad、服薬指導、訪問薬剤管理指導、居宅療養管理指導

問合先：大熊哲汪 〒382-0003 長野県須坂市旭ヶ丘 1-10

株式会社メディカルアソシエイツ

E-mail : info@med-aso.com